

2000年8月28日

2000年知事選

報告書

(2000年8月23日~24日調査)

調査の設計	1
結果の概要	3
単純集計	4



社団法人長野県世論調査協会

Tel 026-233-3616 Fax 026-233-3610

I 調査の設計

調査の目的

5 期 20 年にわたる吉村午良知事の引退表明を受けて、県知事選挙が 10 月 15 日に行われる。21 世紀の長野県を担う新たなリーダーと、県政の方向を選択する大きな節目を迎えるが、立候補をめぐる動きは流動的で、本格的な政策論議には至っていない。県民はこれまでの県政をどう評価し、どのような知事と施策の登場を期待しているのか。9 月 28 日の告示まで残すところ約 1 ヶ月のタイミングで、幅広く各層の考えを探る。

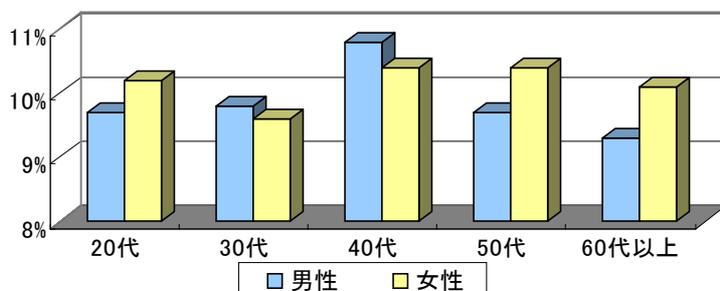
調査の設計

調査対象	長野県内に住む 20 歳以上の男女 1000 人
抽出方法	県内を東北中南の 4 地区に分け、さらに 20～60 代以上の 5 つの年代層・性に分割し、人口数による比例配分で、各市・各郡の対象者数を設定。 NTT の電話帳から一定のルールにより、無作為抽出した世帯から、設定した年代・性の人を 1 人選んだ。
調査方法	電話
調査期間	2000 年 8 月 23 日～24 日
調査地点	17 市 20 町 13 村
回収結果	各市・各郡とも年代・性の人数に達するまで抽出を繰り返したので、回答者数は対象者数と同じ 1000。

サンプルの内訳

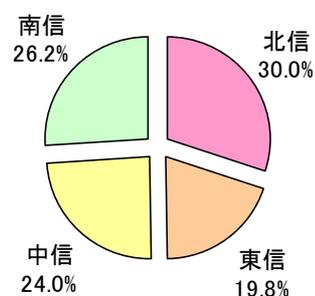
【性別と年代】

	全体	20代	30代	40代	50代	60代以上
男性	493 49.3%	97 9.7%	98 9.8%	108 10.8%	97 9.7%	93 9.3%
女性	507 50.7%	102 10.2%	96 9.6%	104 10.4%	104 10.4%	101 10.1%



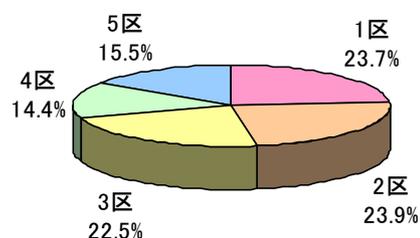
【居住地】

北信	300	30.0%
東信	198	19.8%
中信	240	24.0%
南信	262	26.2%



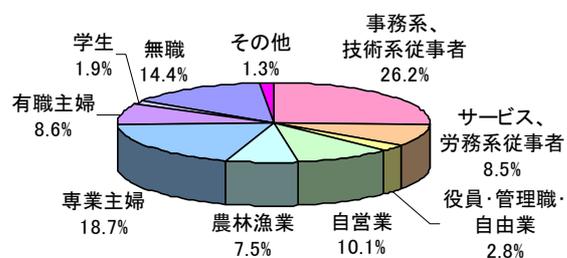
【選挙区】

1区	237	23.7%
2区	239	23.9%
3区	225	22.5%
4区	144	14.4%
5区	155	15.5%



【職業】

事務系、技術系従事者	262	26.2%
サービス、労務系従事者	85	8.5%
役員・管理職・自由業	28	2.8%
自営業	101	10.1%
農林漁業	75	7.5%
専業主婦	187	18.7%
有職主婦	86	8.6%
学生	19	1.9%
無職	144	14.4%
その他	13	1.3%



Ⅱ 結果の概要

県政の評価

日ごろ県政との結びつきを「実感する」人は3割、逆に「実感しない」人は7割という中で、県政について総体的に「満足している」人は4割を超えたが、不満足という人よりは少ない。

具体的な項目の評価で(a)冬季五輪の成果の生かし方については「だいたい評価する」が半数に達したが(b)施策の全県的なバランス(c)県政の独自性の発揮(d)情報技術(IT)の取り組み - の3項目では、いずれも否定的な評価が上回った。

知事選の関心

総体的な「関心はある」は7割に迫り「関心はない」は3割を割った。昨年10月、知事選1年前に実施した当協会調査での関心度に比べて「かなり関心がある」は増えたものの、総体的な関心度には、ほとんど上昇がみられない。

各層の候補選びの動きに対して「県民の期待感が反映されていない」という受けとめが半数を超える実情が関心の高まりを削いでいる格好だ。

知事選で問うてほしい施策

重点を注いでほしいと願うのは「福祉・医療」が他を引き離してトップ。2位は「教育」、3位には「環境」と身近な課題が挙げられた。「県政の優先課題」として、同じ回答選択肢で聞いた昨年の当協会調査の上位とあまり変化していないが、2位だった「行財政」が7位に後退した半面、最下位の10位の「情報・通信」が5位に浮上した。

期待する知事像

すでに意中の人が決まっている人が2割半ば、決まっていない人は7割という結果が出たが、好ましいリーダー像では「個性で引っ張るタイプ」が半数を超え「バランス重視の調整タイプ」を上回る結果になった。

選択のポイントとして「公約・施策」と「人柄・イメージ」が上位に並び、ひと呼吸置いて「行政経験」「若さ」が続く。政党、団体関連の「推薦」は、まだ浸透していないようだ。

政党支持

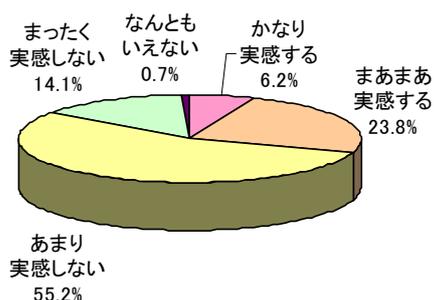
衆院選から2カ月過ぎて支持状況も様変わりし、選挙直後の調査に比べて、自民党が僅差ながら民主党を抑えて首位に返り咲いた。しかし、無党派層への“回帰”が著しく両党とも支持率自体は減らした。

衆院選で後退した共産党が3位に復帰、4位以降は自由党、公明党、社民党と順位が入れ替わり、わずかな差で続く。

Ⅲ 単純集計

県政との結びつき「実感する」3割 「実感しない」7割

問1 日頃県政との結びつきを実感しますか。		
かなり実感する	62	6.2%
まあまあ実感する	238	23.8%
あまり実感しない	552	55.2%
まったく実感しない	141	14.1%
なんともいえない	7	0.7%



県政との結びつきを「実感する」「実感しない」は倍以上の開きが出たが、同じ「実感する」でも北信34% - 中信26%の地域差がある。

総体として、男女に違いはほとんどみられないが、年代層が若くなるほどに「実感しない」が増えていき20代では9割に達する勢い。

県政に「満足」43% 「不満足」51%

問2 県政に満足していますか。		
かなり満足している	20	2.0%
まずまず満足している	411	41.1%
あまり満足していない	427	42.7%
まったく不満だ	81	8.1%
なんともいえない	61	6.1%

冬季五輪の成果「生かしている」半数が評価

問3-A 冬季オリンピックの成果の生かし方について		
だいたい評価する	502	50.2%
あまり評価しない	432	43.2%
なんともいえない・わからない	66	6.6%

施策の地域バランス「あまり評価せず」過半数

問3-B 施策の全県的なバランスについて		
だいたい評価する	312	31.2%
あまり評価しない	566	56.6%
なんともいえない・わからない	122	12.2%

県政の独自性「姿勢を評価する」3割弱

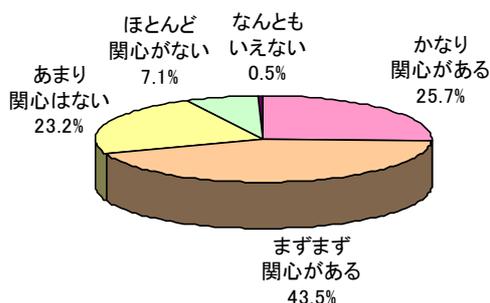
問3-C 長野県政として独自性を打ち出す姿勢について		
だいたい評価する	288	28.8%
あまり評価しない	563	56.3%
なんともいえない・わからない	149	14.9%

情報技術の基盤づくり - 半数は否定的

問3-D 情報技術(IT)普及の基盤づくりについて		
だいたい評価する	265	26.5%
あまり評価しない	497	49.7%
なんともいえない・わからない	238	23.8%

県知事選「関心がある」7割に迫る

問4 県知事選挙に関心がありますか。		
かなり関心がある	257	25.7%
まずまず関心がある	435	43.5%
あまり関心はない	232	23.2%
ほとんど関心がない	71	7.1%
なんともいえない	5	0.5%



告示前1カ月の関心度7割は高いのか低いのか...
 高い年代層の関心は高く「かなり関心がある」だけで50代は3割、60代以上では4割半ばに伸び、関心度総体では8割に迫る。しかし、20代では「関心がない」は全体で4割半ばで、世代間のバラツキは見逃せない。職業層では農林業の関心は8割を超す。

知事選で問う重点施策「福祉」トップ 続く「教育」「環境」

問5 今度の知事選で、県政のどのような分野の施策を重点的に取り上げてほしいと思いますか。(2つ以内)		
福祉・医療	531	53.1%
教育	258	25.8%
環境	205	20.5%
交通	197	19.7%
情報・通信	118	11.8%
商業・観光	105	10.5%
行財政	102	10.2%
農林業	79	7.9%
防災	34	3.4%
工業	27	2.7%
その他	50	5.0%
とくにない	43	4.3%
不明	1	0.1%

好ましい知事像「個性的・引っ張るタイプ」優勢

問6 長野県の知事として、どのようなリーダー像が好ましいと思いますか。		
自分の意見や個性を前面に押し出して、組織を引っ張っていくタイプ	516	51.6%
行政の手法やバランスを大事にして、組織をまとめていくタイプ	423	42.3%
どちらともいえない・わからない	61	6.1%

知事選で投票する人「決まっている」4分の1

問7 今回の知事選では、投票したいと思う人は、だいたいお決まりですか。		
決まっている	256	25.6%
決まっていない	714	71.4%
なんともいえない・いいたくない	30	3.0%

投票で重視「公約」「人柄」「行政経験」「若さ」上位に

問8 今度の知事選で投票するとすれば、候補者のどのような点を重視して選びますか。(2つ以内)		
公約・施策	442	44.2%
人柄・イメージ	401	40.1%
行政経験	199	19.9%
若さ	124	12.4%
市民活動経験	84	8.4%
支持する政党・政治家の推薦	79	7.9%
市町村や関係する団体の推薦	46	4.6%
無党派	29	2.9%
女性候補	17	1.7%
その他	81	8.1%
わからない・いいたくない	73	7.3%

候補選び「県民の期待感を反映」3割にとどまる

問9 知事選の候補者を選び出す、これまでの動きをどのように受け止めていますか。		
どちらかといえば、県民の期待感が反映されている	294	29.4%
どちらかといえば、県民の期待感が反映されていない	578	57.8%
なんともいえない・わからない	128	12.8%

支持する政党「自民」首位 僅差で民主 無党派層は半数超す

問10 どの政党を支持しますか。		
自民党	160	16.0%
民主党	143	14.3%
共産党	33	3.3%
自由党	21	2.1%
公明党	20	2.0%
社民党	20	2.0%
保守党	5	0.5%
その他の政党	12	1.2%
支持政党なし	541	54.1%
いいたくない	45	4.5%